

第1回は「はじめの一步」と題した座学でしたが、第2回目は実際の家づくりの現場です。今回は施主さんのご厚意で建築中の木の家を二つ見せてもらいました。

一つ目は尾鷲ヒノキと宮川スギの家。尾鷲ヒノキをふんだんに使った骨組みと、宮川スギのパネルの組み合わせです。上棟直後のため、骨組みがむき出しの状態です。木の家の構造が大変分かりやすく、完成後は見ることの出来ない床下や壁の中の様子など隅々まで見る事が出来ました。

二つ目は地元のスギ葉枯らし材をふんだんに使った家。ほぼ完成した木の家は、外壁は施主さんがご自身で柿渋を塗られたという杉板。内部はスギ丸太を使った迫力満点の木組みが見えるようになっていました。

どちらも「木の家」ですがそれぞれに特徴があり、また、施工中と完成間近ということで、盛りだくさんの内容になりました。参加者の皆さんからは多くの質問が飛び出し時間が足りないくらいでした。集合や途中の移動で手間取ったりと不手際もありましたが、参加者の皆さんには満足していただける内容だったと思います。

いよいよ最終回の第3回は「山へ行こう！」と題した産地見学会。家を支える木はどのように育てられ加工されるのか。尾鷲ヒノキの森や製材工場の見学です。

